

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 火・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 III (Comprehensive English III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2M14	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 稲富百合子 /Eメールアドレス: inadomi@adm.fukuoka-u.ac.jp /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: /オフィスアワー: 授業の前後、またはメールにて受け付けます			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 本授業では、幕末の長崎を描いた英文を読み、効率的、かつ正確な読解力を高めることを目指します。</p> <p>授業方法: 各自、自宅で予習、復習をして授業に臨んでください。リーディングに関しては、必要に応じて精読と速読を使い分けていきますが、特に、速読の力を身につける訓練を行います。また、テキストは英作文や語彙力の強化も重視した内容となっていますので、各章毎に復習テストを行い、語彙力の定着を図っていきます。リスニングに関しては、各ユニットで扱われている内容に関連するものを、プリント教材を使用していきます。</p> <p>授業到達目標: (1)速読のスキルを身につけ、英語の文章を正確に読み進めることができるようになる。 (2)リスニングの演習を通して、自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要)</p> <p>毎回テキストを1ユニットずつ進めていきます。</p> <p>第1回 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について)、Unit1:西洋技術を伝えたブルック博士(1) 第2回 Unit 1 つづき、Unit 2:西洋技術を伝えたブルック博士(2) 第3回 Unit 3: 日本最初の医学校の創始者ポンペ博士(1) 第4回 Unit 4: 日本最初の医学校の創始者ポンペ博士(2) 第5回 Unit 5: オランダ海軍と日本への技術移転(1) 第6回 Unit 6: オランダ海軍と日本への技術移転(2) 第7回 Unit 7: オランダ海軍と日本への技術移転(3) 第8回 Unit 8: オランダ海軍と日本への技術移転(4) 第9回 Unit 9: 西洋式科学と薬学の導入 第10回 Unit 10: オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本との関係(1) 第11回 Unit 11: オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本との関係(2) 第12回 Unit 12: オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本との関係(3) 第13回 Unit 13: オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本との関係:日本蒸気工場 1856 年 第14回 Unit 14: オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本との関係:発展 1861 年ー1865 年 Unit 15: 1850 年頃の医学の概観 第15回 全授業の総括(試験含む)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<i>Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan</i> (『幕末・近代化の先覚者たち』英光社 (1,900 円+税) *授業には必ず辞書を持参すること		
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、授業への積極的な取り組み状況(発表)30%、小テスト・課題提出20%とし、総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	第1回目の授業のはじめに、教室で教科書販売を行います。必ず出席してください。		